



ひっかけて、欠損した歯と歯肉の部分を作成して入れ歯本体を安定させるという方法が採用されています。入れ歯の形や設計に

よって、金属のバネが目立つことがしばしばあります。そこで最近では従来の材料ではなく、ナイロン系の

微です。その一方で、従来の材料と比較してやや軟らかいため、本体の表面に傷がつきやすく、劣化するの

ります。さらには健康保険が適用されませんので、費用が高くなることが予想されます。

金属バネのない部分入れ歯

見た目美しく、短所も

適度な弾性を持つ特殊な材料で作る部分入れ歯があります。表面の見える所には金属を使用しないので、見た目が美しいといえます。

また、誰にでも合うわけではなく、使う人の口の中の状況によって適応するかどうかを判断する必要があります。

さらに適度な弾性のため、本体を支える歯への負担も少なく、重量も軽いのが特

このタイプの入れ歯を作る場合はかかりつけ歯科医とよく相談されることをお勧めします。

【問い】主治医に部分入れ歯を勧められました

が、実物や写真を見ると金属のバネが目立つようで気になります。最近では、金属のバネがない入れ歯があると聞いたことがありますか、本当でしょうか。

(大村市、60歳女性)

【答え】一般的な部分入れ歯では、口の中に残っている歯に金属のバネを

回答者

山邊 成志

東彼波佐見町宿郷
やまへ 歯科医院院長



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。